

夏の体験ボランティア

2025



東京ボランティア・市民活動センター



事業概要

夏の体験ボランティア2025 in TOKYO

キャンペーンに参加した区市町村ボランティアセンターの総数
東京都:1 区部:17 市町村:23 総数:41

実施期間 2025年7月～9月

申込開始時期や実施期間は、区市町村ボランティアセンターごと
(<https://www.tvac.or.jp/special/summer/local>)

ご協賛

デロイトトーマツグループ合同会社（特別協賛）
トヨタアルバルク東京株式会社（協賛）

■ 今年 の 目 標

“

**連携・協働を密に行い
ボランティア体験の質を高める**

”

区市町村のボランティアセンターとの連携およびボランティア受入れ団体との密な
コミュニケーションをとることで体験の質を高めることを目指します。

実施状況 (報告)

申込者数

7,519人

地域別最大申込者数：576

最も参加者数が多かった所属：中学生

プログラム数

対面：2,479

リモート：37

参加者数 (対面)

8,441人

最も参加者数が多かった分野

：児童・子育て

参加者数

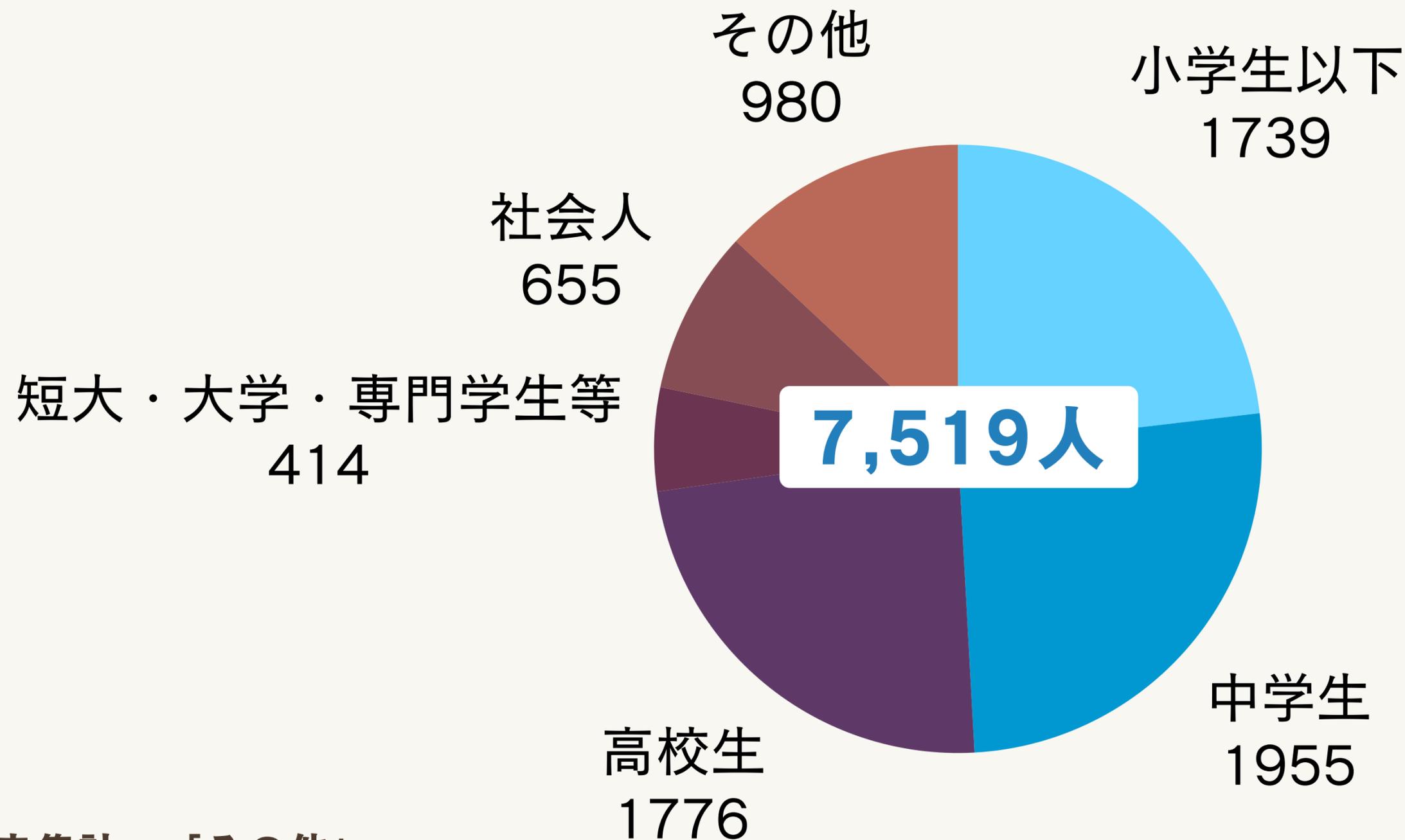
(リモート)

518人

最も参加者数が多かった分野

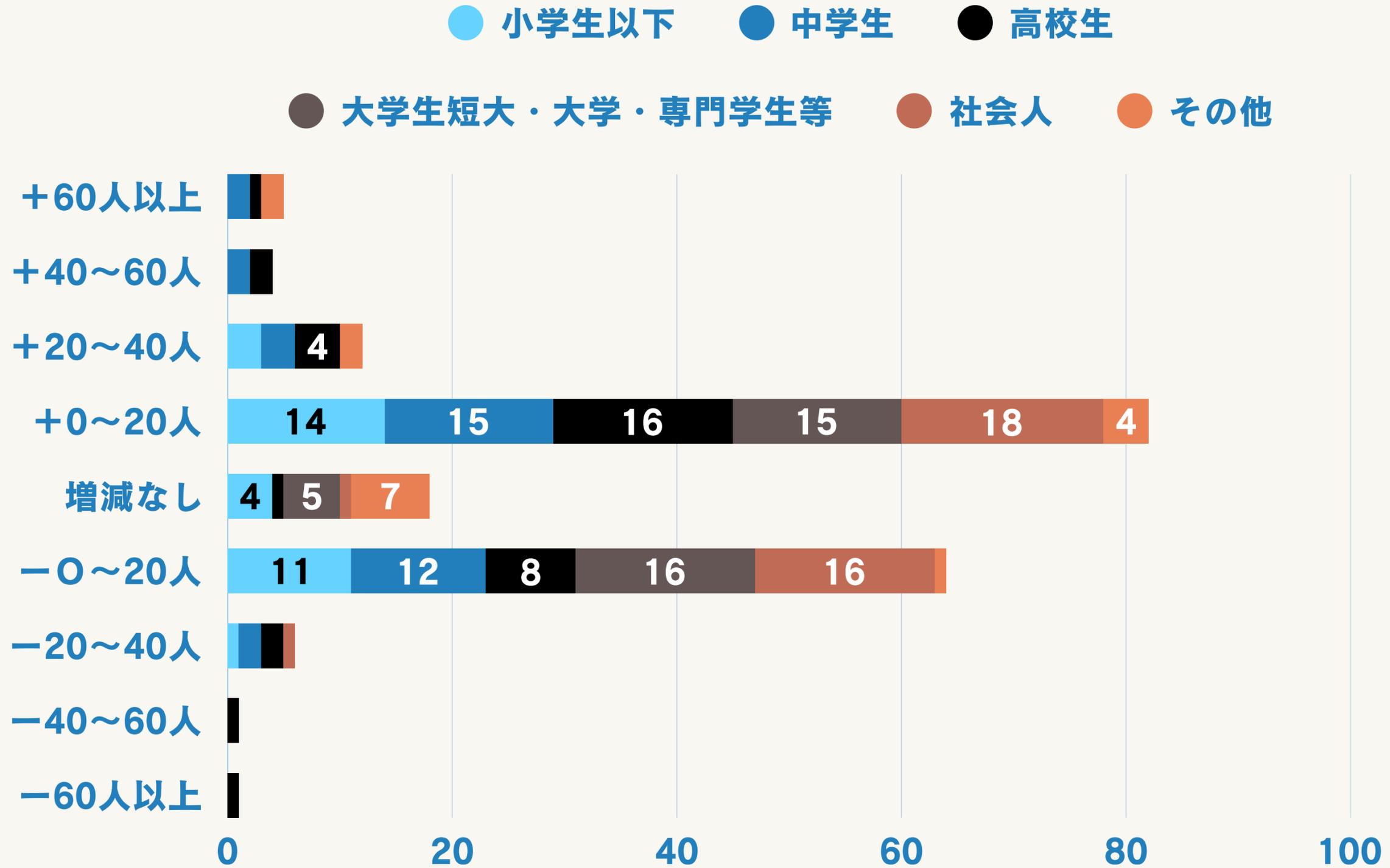
：その他 (防災・特技披露)

実施状況 (申込状況)



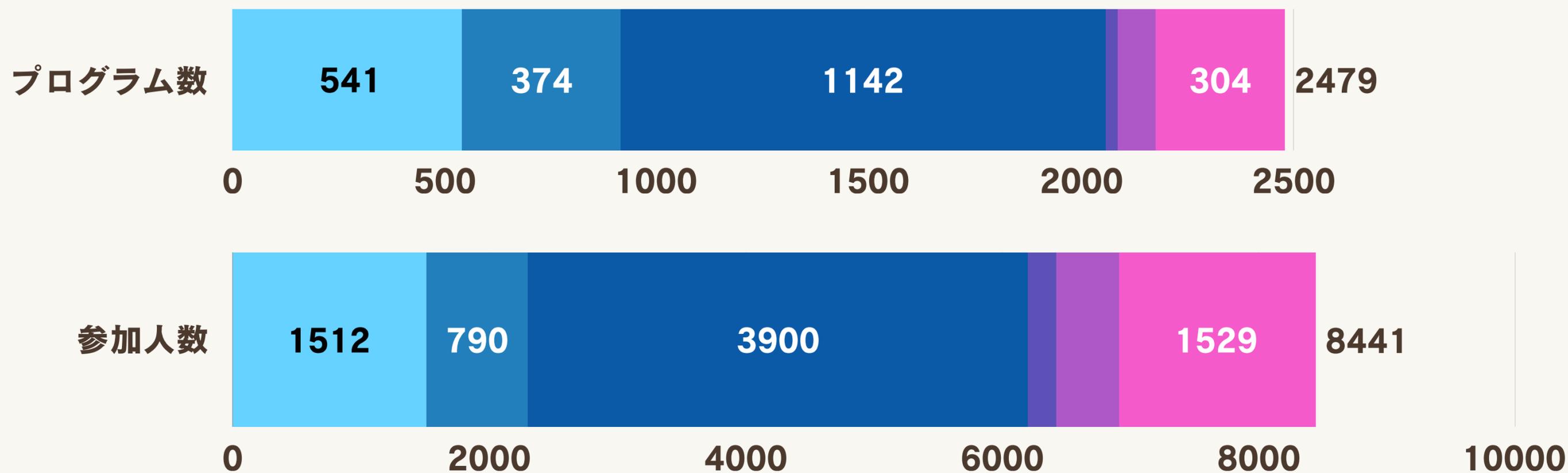
※6か所年代別未集計→「その他」

実施状況 (申込状況・ 所属別増減)



実施状況 (対面プログラム)

- 高齢分野
- 障がい児・者分野
- 児童・子育て分野
- 国際分野
- 環境分野
- その他



実施状況 (リモートプログラム)



東京ボランティア・ 市民活動センターの夏ボラ



TVACプログラム参加状況

参加団体

3 3

団体

申込者数

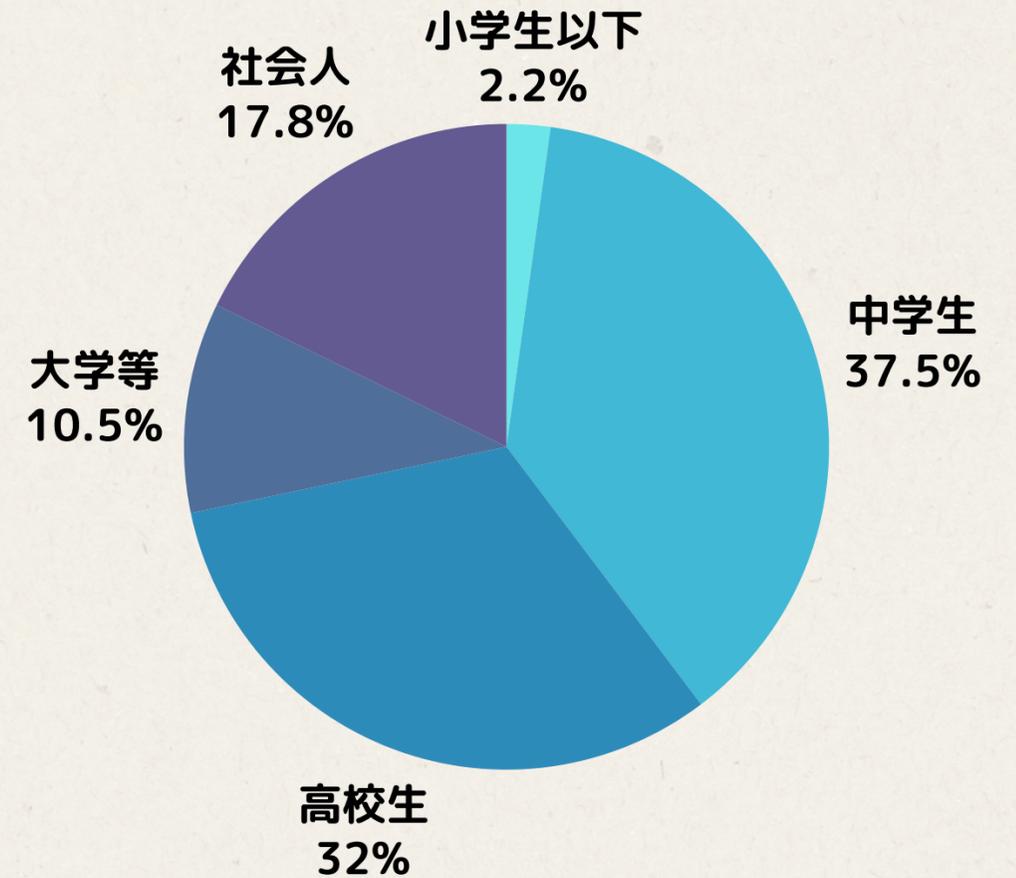
4 5 6

名

参加者層

4 8

プログラム



※ 3プログラム作成が2団体、2プログラム作成が7団体
TVAC他担当と連携し4プログラムを作成

■ 新たな取り組み

① 都内共通プログラム「祖霊のともしび」

都内各地域で同一プログラムを実施し、「夏ボラ」を盛り上げよう！

② リモートボランティア協働企画

- ・ 江東区ボランティア・地域貢献活動センター
- ・ 稲城市社会福祉協議会ボランティアセンター
- ・ 三宅島社会福祉協議会

都内共通プログラム「祖霊のともしび」

送付枚数 **1135** 枚

※一人1枚のみ

「夏の体験ボランティア2025 in TOKYO」

地域VC・TVACキャンペーン企画

祖霊のともしび～能登へのメッセージを灯籠に書いて送ろう～

実施日：7月1日（火）～27日（日）

内容：石川県輪島市町野町金倉地区で行われる

「祖霊のともしび」で灯す

和紙をデザインする”能登応援メッセージ”

※TVACが実施してきた能登支援事業から生まれた連携プログラム

TVAC夏の体験ボランティア2025

能登へのメッセージを灯ろうにかいて送ろう

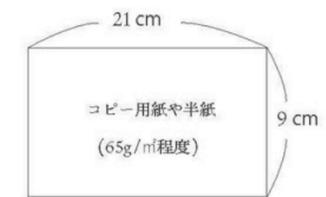


①紙をよういする
ひとり1枚まで

②メッセージをかく

③セロテープをはる

④たたむ



・テーマ「能登復興の願い」
・手書きでも印刷でも書でも絵でもOK
・画材や色も自由（キャンドルの光を通すように注意）

紙が重ならないように 紙が重なっているとだめ

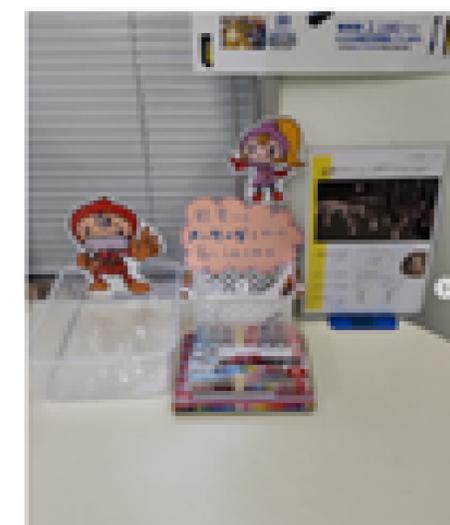
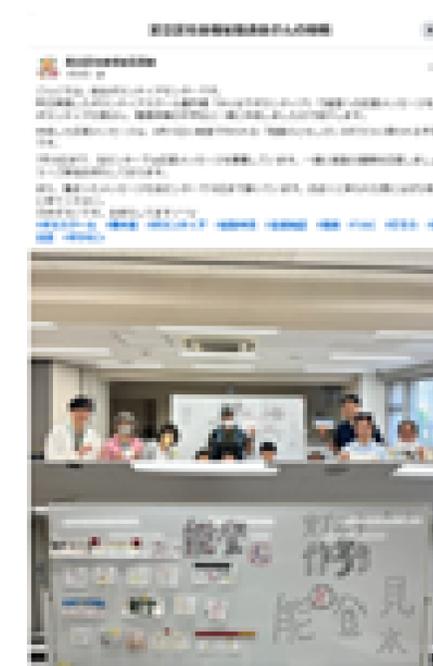
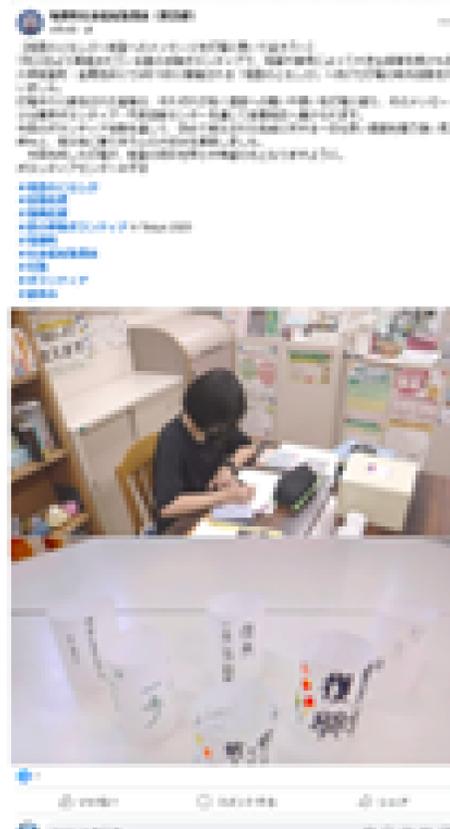


完成すると
こんな感じ！



都内共通プログラム「祖霊のともしび」

THANK
YOU
(SNS一部)



都内共通プログラム「祖霊のともしび」



リモートボランティア協働企画

- 江東区ボランティア・地域貢献活動センター
- 稲城市社会福祉協議会ボランティアセンター
- 三宅島社会福祉協議会

内容：区市町村のボランティアセンターと一緒に
リモートプログラムを作成する

目的：ボランティア参加の間口を広げる

理由：①時間や場所が限定されないプログラムを作成することで、
体調に不安のある方や身体的に外出が難しい方、
仕事等で忙しい方も参加が可能となる。

②区市町村のボランティアセンターではリモートプログラムの
開発経験がない地域が多数あること。

【募集】オンライン 特技ボランティア

特技ボランティアさん大集合！楽器演奏やダンスなど特技を撮影した動画から、たくさんの笑顔をつくりませんか？
集まった動画は、区内高齢者施設でのレクリエーション時や江東区ボランティア・地域貢献活動センターのInstagramにてご紹介させていただきます。

【参加条件】

個人又は団体でも可

【募集人数】

制限なし

【活動日】

令和7年7月22日(月)から8月29日(金)の間に、撮影した動画を送ってください

【申し込み期限】

令和7年7月22日(月)から8月29日(金)まで

【活動内容】

①特技を撮影した動画を作る
※動画の長さは1作品5分以内(センター内で審査あり)
※音源などを使用する場合は、著作権をご確認ください。
②動画を送信する
※江東区ボランティア・地域貢献活動センターの公式LINEをお友達追加後、

【連絡事項】

動画は、センター内で内容の確認をします。動画撮影の際は、第三者や個人情報（住所や電話番号等）が映っていないか確認してください。

【団体の説明】

江東区ボランティア・地域貢献活動センターは、地域貢献活動団体、区民、行政、企業をつなぐお手伝いをしています。当センターでも夏の体験ボランティアの募集を行っています。ぜひホームページを見に来てください！
<https://koto-shakyo.or.jp/volunteerc/natsubora.html>
団体の所在地：東京都江東区東陽6-2-17 江東区高齢者総合福祉センター2階



参加者アンケート結果

概況：ほとんどの参加者が活動に対してポジティブな評価をしており、受け入れ団体の皆様の丁寧なご対応が成果として表れています。

分析：1件「よくなかった」という回答があるため、事務局としては今回の改善案（事前オリエンテーションの徹底やミスマッチ防止策）を講じることで、満足度100%を目指したいと考えています。

評価	件数	割合
よかった	61件	96.8%
まあまあよかった	1件	1.6%
よくなかった	1件	1.6%
合計	63件	100%

参加者の感想

～ボランティア体験を通じた学びと喜び～

今年度の参加者からは、活動の楽しさや新しい発見、親子での参加など、前向きな感想が数多く寄せられました。

活動の楽しさと充実感

- 「楽しかった」「体験が楽しかった」という声が多く、活動自体が充実していたことが伺えます。
- 「学びを深めることができた」「普段はできない貴重な体験になった」といった成長を実感したという声も多数ありました。

多様な参加形態とアクセスの良さ

- 「リモートでの活動」や「自宅でも気軽に」取り組める内容が、参加のハードルを下げていました。
- 「息子（小学生）と参加」「親子で参加」など、ファミリー層の満足度も高い傾向にあります。

社会課題への関心

- 「能登半島のニュース」や「荒川の現状」など、実際の社会課題に触れることで、これまでにない視点を持てたという意見が目立ちました。

今年度の活動の様子

受け入れ団体との振り返りより、活動の成果や手応えを感じる声をピックアップしました。

活動の広がりと多様な体験

- 荒川の現状を知るための環境保全活動や、能登半島地震に関連したニュースの共有など、タイムリーな社会課題に取り組めた。
- 手話、切り絵、編み物、翻訳、映画字幕作りなど、バラエティ豊かな体験プログラムを提供できた。
- 渡り鳥のための活動や、短い動画制作といったクリエイティブな活動も実施された。
- インドネシアなど海外への関心につながる支援活動や、お便りを通じた交流が行われた。

参加者の前向きな姿勢と成長

- 「普段はやらないこと」「普段はできないこと」に挑戦し、学びを深める参加者の姿が見られた。
- 市民活動センターでの活動を通じて、これまでに知らなかった世界に触れる機会を提供できた。

受け入れ体制の工夫と成果

- 持病で外出が難しい方や、部活動・通学で忙しい方でも参加できるよう、リモートや在宅で「気軽に」「家で簡単に」できる仕組みが喜ばれた。
- 親子（小学生の息子と）や三世代での参加など、幅広い層がボランティアに触れるきっかけとなった。
- 高校生やボランティア初参加の方にとっても、参加しやすい環境を作ることができた。

Thank You!

